

週刊 新社会

発行所：新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神保町2-10 三辰工業ビル3F
TEL 03(6380)9960 FAX 03(6380) 9963
振替 00140-0-149727 1ヶ月700円 郵送料 1ヶ月168円

新社会千葉

2025年11月 277号

発行：新社会党千葉県本部

千葉市中央区新田町7-5 石出ビル3F
TEL:043-244-6865 FAX:043-244-6864
E-mail:sinsya@ily.ocn.ne.jp
HP URL:http://shinsya-chiba.sub.jp/

装置開発企業のHPより



9月29日、千葉県議会環境常任委員会において、川口えみ県会議員（市民ネット千葉県）の海上自衛隊下総航空基地のPFAS問題についての質問に対して、県は「排水口2カ所ではイオン交換樹脂を用いた装置による処理を開始し、残りの1カ所では電源工事が完了す

るまでは活性炭による処理を行い、工事完了次第、他2カ所と同様の装置を稼働させる。除去の程度は1リットル当たり50ナノグラム

た。また、「下総航空基地に対しては、流出防

いは、自主的に公表し、地域住民とのリスクコミュニケーション

期的に排水の水質測定を実施し、測定結果について関係自治体と情

報共有を図るとしていることから、周辺市と連携しながら、公表の方法について基地と協議を行ってまいります」と、今後の監視と対策について回答した。

川口えみ県議らの努力実る
海上自衛隊下総航空基地がPFAS除去装置

高市極右政権を許すな
新社会党千葉県本部第31回定期大会



大会の冒頭にあいさつに立つ宮川敏一新社会党
千葉県本部委員長＝10月25日、習志野市内

公明党の政権離脱を受けて、自民党の高市早苗総裁は、日本維新の会の閣外協力を取り付けるとともに、参政党、保守党、NHK党の協力を得て、女性初の第104代総理大臣に就任した。

この間、参議院選挙前には各党あれほど主張し合った、「給付金・消費税減税」などには一言も触れないばかりか、自民党衰退の主要な要因の「政治と金」問題も不問にし、ただただ国会における数合わせに狂奔した。

このようななか、新社会党千葉県本部は第31回定期大会を開催し、平和と民主主義を護るための方針案を協議した。

新社会党千葉県本部は10月25日、習志野市内において、第31回定期大会を開催した。

冒頭、宮川敏一党県本部委員長は、「高市極右政権の誕生で、政局は大きく変わろうとしている。この一年間でバワハラの問題もありました。成果と課題の総括から機関紙と党員を増やそう。地方議員を増やそう」などと決意を込めてあいさつした。

来賓は、富山栄子新社会党中央本部副委員長、廣瀬理夫憲法を動かす会千葉県協議会共同世話人、原田義康社民党千葉県連合幹事長、川口えみ市民ネットワーク千葉県共同代表・県会議員、斉藤和子日本共産党千葉県委員会副

委員長（元衆議院議員）、小西洋之参議院議員から届いたメッセージも紹介された。

大会は、書記長の嶋川静さんが小林春彦さんと交代して終了した。

戦時中の歴史認識について日本軍の罪悪を認めない考え方で、過去には、A級戦犯を祀る靖国神社参拝を続け、中国や韓国に不快感を与えている。

憲法改正に積極的で自衛隊の明記を目論み、夫婦別姓に反対し「日本人なら同姓だ」との価値観にも踏み込む。男系男子による皇位継承を主張し、外国人に厳しい排外主義の考え方だ。

生活保護削減は違法との判決に際し、「さもし顔をして貰えるものは貰おうとか、弱者のふりをして少しでもトクしよう。そんな国民ばかりになったら日本は滅びますよ」と発言。これは国民の生活を預かる国会議員の感覚としてはアウトで、もしそのような人がいたらとしたら、そんな人が一人もない豊かな国民生活をつくるのが仕事である

極右と言われる理由

展望

高市政権となった。読者諸氏も食欲が減退した。憲法、軍事、外交、人権等々、私たちが対極である

▼その高市自民、参院でN党の議員と会派を組んだ。N党党首はデマや誹謗中傷を繰り返して、県議会議員を自殺に追いやった。その悪行を知らぬ者はいない

▼そんな高市政権の支持率が68%だと新聞にあった。そして衆院比例投票先は自民との若い年代層が増えているという。その一方、私達は仲間と高市批判で盛り上がりつつあることだろう。だがそれでは高市政権支持の若者には届かない。相も変らぬ仲間内の憂さ晴らしにすぎぬ

▼SNS選挙の問題は確かにある。だがそれがろくでなしどもの武器にされている以上、労組との接点も薄れている現実の中、私達もSNSを始めなければ勝負にならない。

【訂正】一〇月号「メガソーラーは環境アセスの対象外」↓「当時は対象外」、8月号「偏頗」に「へんび」のふりがな↓「へん」。

新社会まつり

山武支部



坂井一任さんのギター演奏に拍手喝采

党山武支部は10月26日、横芝光町において「新社会まつり」を開催しました。「憲法を活かす会・さんぶ」の坂井一任会長のギター演奏に始まり、カラオケやゲームなど食事をしながら、楽しい時間を過ごしました。「豪華景品」も準備され、くじ引きによって、景品が当たるたびに歓声が上がりました。英気を養ったので、また新聞を増やすぞ。

まなぶ友の会が読者大会開く

労働大学まなぶ友の会千葉県協議会は9月28日、千葉市緑区「昭和の森」公園太陽の広場で第51回読者大会を開催しました。日音協のギター演奏で「まなぶの仲間」を全員合唱、他にオリジナル曲を含め3曲聴きました。まなぶ埼玉県協からも2名の参加で13名。手作りの差し入れに舌鼓。曇り空の下、歌ありゲームありの楽しい一日となりました。

バザー&ナノハナフェスタ 朝鮮学校にも補助金を



踊を披露する可愛い子どもたち=10月26日、検見川町

「バザー&ナノハナフェスタ」が10月26日、千葉市検見川の千葉朝鮮初中級学校で開催された。晴天ならグラウンドいっぱいにはテントを張って行う所だが、

あいにくの雨天でバザーも模擬店も全て校舎の中で開催された。さすがに七輪焼き肉のコーナーだけは屋外のテントの中だ。校舎の玄関フロアに

はマッコリとビール販売コーナー。各教室ではチジミ、キンパ、キムチなど各種朝鮮料理の販売、衣類や手芸品販売コーナーなどが並んでいる。開催時間の11時には近所の住民も親子連れで大勢やってきて、廊下も教室も人であふれる盛況ぶり。12時から始まった児童、生徒の民族衣装での歌と踊りは2階の講堂で行われ拍手喝采だった。日頃の練習の成果だろう、クオリティーの高い演技だった。1枚300円で販売された抽選券をもとに行われた大抽選会では豪華な賞品を前にして

補助金を出さない国や県

この取り組みを支えてきた「千葉ハッキョ（学校）の会」の堀川久司さんは「これが始まったのは、朝鮮学校には国や県から補助金は一切出されないの、このイベントの収益金のほとんどを学校に寄付する。それが先生たちの賃金になったりするんです。今日みたいな天気だと売り上げにかなり影響が出るんですが、オモ二会のお母さんたちが必死になって次の準備をするんです。私に関わるように

四季へのいざない
猫の尾の時をり動く小春かな 水明
季語は「小春」。初冬の季語である。傍題としては、「小六月」「小春日」「小春日和」がある。陰暦一〇月の異名であるが、厳しい冬になる前の温和な日和をいう。日向ぼっこにももってこいの日和である。さて、掲句は場所の提示もなければ、猫の素性も不明、飼いや猫なのか野良猫なのかわからない。そんな事情や状況を考えながら読むことも俳句の楽しみであり、醍醐味でもある。

囲碁・将棋交流会

11月15日 10:00

京成労働会館

週刊新社会を 購読しませんか

月額700円 郵送料168円

なったのは2014年から2018年に『日に『千葉ハッキョの会』朝友好の会』を立ち上げ現在に至っています」連ネットワークができ、子どもたちの教育権を保障するために協力する人たちがいるんですが、朝鮮民主主義人民共和国という名前だけで引いてしまう状況で、これは日朝友好を進めないとだめだと痛感しました。当時上野建一さんと相談しながら

【菅原】
参加された方は「児童生徒の歌や踊りがかわいいですね。レベルも高くて楽しめました。悪天候の中でも焼き肉を囲んで、旧知の仲間と話も弾んで良かったです」と、次回も参加すると話していた。

娘の子供の2歳誕生日祝いと言う理由で、TDL（東京ディズニーランド）に行く事になりました。娘はTDLが好きで、行きたいがための理由付けもあります。会議などの終わったあとの交流会に参加する私の気持ちと同じ（楽しいから）です。

娘と孫と 楽しいTDL



2万歩超になりました。食事は高いので、おにぎり持参。これが美味しいのです。夕食は時間指定で並ばずに、受け取り口に直行出来るモバイル予約でカツカレーに生ビール。当日は暑かったです。が、比較的空いていました。蝉の偽造音が流れるなか、本物の蝉の鳴き声を聴くと、そこにはTDL（生木にいたる本物の蝉）がいました。

【菊地】



TDLが私にとって「夢の国」になったのは「生ビール」が飲める事でした。日帰りの予定でしたが、近くのホテルが20時以降の宿泊だと1室1万2000円。TDLの駐車料金3000円ですがホテル宿泊者は駐車料金無料。ホテルの送迎バスも無料送迎。TDLの駐車料金を考えると、ホテル宿泊代は6名で9000円に泊まるのも当日に決定。これ全て娘がスマホで検索＆予約手配。実は、今回のホテルも常宿。このホテルには、温泉と露天風呂もあり、はぁ！出来るのも娘のおかげ。遅く家に帰ってからもいろいろあるので、休憩（1泊）してからかと言うことです。翌日は、朝風呂に浸かり、ゆったりしてかから帰りました。楽しい旅でした。